



石川県リハビリテーションセンターニュース

目次

新しくなった「ほっとあんしんの家」をご利用ください！	1
リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業	2～3
リハビリテーションセンター研修事業	4
難病相談・支援センター事業	5
高次脳機能障害相談・支援センター事業	6

新しくなった「ほっとあんしんの家」をご利用ください！

リハビリテーションセンター敷地内にあるバリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」は、最新の評価機器や福祉用具の整備を行ったことで、今年2月のリニューアルオープン以来、多方面からの相談、見学等が増えています。

自分の生活に適した住宅改修の検討や福祉用具の試用確認等の相談支援、医療・福祉等の専門職や学生の方々の教育研修、福祉用具や環境のユニバーサルデザイン研究等の場として利用されています。

また、祝日、年末年始を除く毎日が開館日ですので、いつでもご自由に見学いただけます（専門的な相談はご予約ください）。

今後ともより多くの方々に「ほっとあんしんの家」を有益な道具として利用していただき、適切な福祉用具や住環境の支援をはじめ、公共施設や交通機関、街並み等のバリアフリー化推進につながることを願っています。



在宅でのリフト導入を検討



リハビリテーション専門職を目指す学生の研修

リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業

障害のある方が、できる限り住み慣れた地域で本人の身体特性を生かした自立的な日常生活・社会活動ができるよう、身近な地域で相談支援および福祉用具等を用いたリハビリテーション技術支援（以下、リハ技術支援）が受けられる相談支援体制づくりを推進しています。

(<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/rihabiri/documents/rehata.html>)

■障害（児）者の自立に向けた支援機関連携モデル事業

障害のある方に関わる支援者が、実際の事例を通じて検討会を行いながら支援者同士のネットワークを強化し、県内地域で適切なリハ技術支援を提供するモデル事業を実施しています。

昨年度は能美市がモデル地域となり、市の職員をはじめ地域の相談支援専門員、福祉用具専門相談員及び当センター職員等が連携し、障害のある方が自立的かつ快適な生活を営む方法について「ほっとあんしんの家」や最新の福祉用具等を試用体験しながら、具体的なリハ技術支援を実施しました。

(<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/rihabiri/documents/documents/nom25ipdf.pdf>)

なお、今年度は県内4地域においてモデル事業を展開し、各地域でリハ技術支援の普及と多職種のチームアプローチが深まり、地域の相談支援体制の充実に繋がることを期待しています。

■補装具の適合・供給人材スキルアップ事業

地域におけるリハ技術支援ならびに相談支援体制の充実に図るには、適切な補装具等を適合・供給できる人材のスキルアップが不可欠です。このため、①自立支援型サービスの視点を重視したプランニング実践研修と、②補装具に関する適合・選定・改良・製作等の実践的技術研修の2つの研修を実施しています。

昨年度は両研修を当センターで開催し、①プランニング実践研修は19名、②適合・製作実践研修（電動車椅子編）は27名の方に修了証を発行しました。両研修とも複数回に渡り受講していただく中で、知識・技術はもちろん、支援者間の新たな出会いの場になったと感じております。今年度は、①プランニング実践研修は加賀地区に会場を移して開催し、②適合・製作実践研修は当センターで「車椅子」をテーマに開催します。是非、ご参加ください。



プランニング研修グループワーク



適合・製作実践研修電動車椅子シーティング実技

①自立支援型サービスの視点を重視したプランニング実践研修（会場：南加賀保健福祉センター）

【目的】 障害のある方や高齢者の自立度の高い生活を実現するには、本人を中心に据えた的確な支援計画が必要です。そのためには福祉サービス等の幅広い情報提供をはじめ、本人の生活ニーズに応じたアセスメントを行い、リハ技術支援を実施することで自立度の高い生活が実現します。研修では機能障害があっても福祉用具や環境の調整により、その人らしい生活を実現するためのプランニング手法を学びます。

リハビリテーションセンター研修事業

1 地域リハビリテーション研修

リハビリテーション関係機関の連携を推進するための研修会です。

(1) 地域リハビリテーション研修会

日時	内容および講師	会場	対象者
9月21日(日) 10:00~12:00	講義名: すべての人々に「リハビリ」が届く地域包括ケアを旨として 講師: 茨城県立健康プラザ管理者/茨城県立医療大学名誉教授 リハ専門医 大田 仁史氏	県リハセンター	保健・介護・医療・福祉関係者等

(2) 地域リハビリテーション実務者研修会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月1日(金) 14:00~16:00	講義名: 地域における運動機能向上の取り組み 講師: 公立羽咋病院 理学療法士 北谷 正浩氏	県リハセンター	介護保険法関連施設、障害者総合支援法関連施設、地域包括支援センター、市町、保健福祉センター等職員
9月5日(金) 14:00~16:00	講義名: 地域における生活行為向上の取り組み 講師: 県立高松病院 作業療法士 塩田 繁人氏		
11月7日(金) 14:00~16:00	講義名: 地域における摂食・嚥下障害の取り組み 講師: 金沢西病院 言語聴覚士 筒井 桜氏		

2 リハビリテーション支援指導研修

リハビリテーション専門職やリハビリテーションに関わる職員への知識の習得や技術の向上を目指すための研修会です。

(1) リハビリテーション医療専門職研修会

日時	内容および講師	会場	対象者
6月21日(土) 14:00~17:00	講義名: アメリカにおける運動器疾患の外来理学療法 講師: CPRxInc ロサンゼルス 理学療法士 Maiko Morotani 氏	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等
8月23日(土) 14:00~16:00	講義名: 生活の向上を見据えた記憶障害へのアプローチ 講師: 相澤病院 脳卒中・脳神経センター 作業療法士 並木 幸司氏		
11月29日(土) 10:30~16:00	講義名: 起居・移乗の基本的考え方と福祉用具のプランニング(仮) 講師: 神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授 作業療法士 古田 恒輔氏		
2月28日(土) 14:00~16:00	講義名: 地域生活を支えるリハビリテーションの展望(仮) 講師: リハビリテーションセンター次長 理学療法士 荒木 茂		
3月7日(土) 13:30~15:30	講義名: 在宅での摂食嚥下障害への対応、誤嚥性肺炎の予防 講師: 国立国際医療研究センターリハビリテーション科長 リハ専門医 藤谷 順子氏		

(2) リハビリテーション技術研修会

日時	内容および講師	会場	対象者
1月~2月	講義名: 介護負担を減らすためのテクニック~移動動作を中心に~(仮) 講師: リハビリテーションセンター職員	県リハセンター	障害者総合支援法関連施設の職員等

3 福祉用具研修

福祉用具に関する知識の習得や技術の向上を目指すための研修会です。

(1) テクニカルエイド普及研修会(県立いしかわ特別支援学校との共催)

日時	内容および講師	会場	対象者
7月28日(月)	特別講演「気になる子どものできたが増える ~体・手先の動き指導アラカルト~」 講師: 未定(作業療法士) 分科会「乗り移り動作について~福祉用具の活用~」 講師: リハビリテーションセンター職員 福祉用具の展示	県立いしかわ特別支援学校	教員、保育士、支援員、その他関係者

(2) 補装具に関する研修会(県身体障害者更生相談所との共催)

日時	内容および講師	会場	対象者
6月29日(日) 14:00~16:00	講義名: 平成26年度補装具制度の概要とその活用について 講師: 身体障害者更生相談所職員、 リハビリテーションセンター職員	県リハセンター	医療・介護・福祉関係者、福祉用具専門相談員等

(3) バリアフリー啓発普及事業

日時	内容および講師	会場	対象者
9月28日(日)	障害者ふれあいフェスティバルへの参加 福祉用具やユニバーサルデザイン用品の紹介	県リハセンター	高齢者及び障害者関連施設関係者等

回	日時	内容および講師	対象者
1	10月8日(水) 10:00~12:00	講義名：身体の特性を生かした自立度の高い生活の実現をめざして 内 容：福祉用具を用いて自立度の高い社会生活を実現する可能性とそのために必要な視点を学ぶ 講 師：NPOバーチャルメディア工房ぎふ 理事長 上村 数洋氏 名誉教授 荒井 利春氏	障害者相談支援 専門員、介護支 援専門員、市町 職員、地域包括 支援センター職 員 等
	10月8日(水) 13:00~15:00	講義名：自立を視点においたプランニング実践とは 内 容：能力を生かしたリハビリテーション技術支援の具体的なケアプランの実践例を学ぶ 講 師：県内の相談支援専門員、福祉用具専門相談員、リハビリテーションセンター職員	
2	11月19日(水) 9:30~15:30	講義名：生活の中で活用する福祉用具の考え方 内 容：生活の中で活用する福祉用具の基本的な考え方について実技を通して学ぶ (車椅子、コミュニケーション機器を中心) 講 師：リハビリテーションセンター職員	
		講義名：自立を視点においたアセスメントへの取り組みポイント 内 容：見立てのポイント、関係機関との繋ぎについて学ぶ 講 師：ケアマネウイズだいこんの花 社会福祉士 介護支援専門員 小島 操氏	
3	12月10日(水) 13:00~16:00	講義名：事例演習 内 容：実際に事例を用いてプランニングを行う 講 師：ケアマネウイズだいこんの花 社会福祉士 介護支援専門員 小島 操氏	

注1：開催場所は、H26年度は加賀地区で実施し、H27年度は能登地区、H28年度は石川中央地区で開催を予定しています。

注2：原則として1~3回全てを受講された方に修了証を発行します。1年で3回全てを履修できない場合は次年度に受講いただければ修了証を発行します。昨年度を受講生で全て履修できなかった方も受講ください。

注3：修了証を取得された方の所属、氏名をリハビリテーションセンターのホームページに掲載します（掲載の可否については同意をいただきます）。

注4：定員を超えた場合は、主催者側で調整させていただきます（個々の回への受講も可能です）。

②装具に関する適合・選定・改良・製作等の実践的技術研修【H26年度：車椅子編】

【目的】身体に障害のある方の機能を代償する手段として、補装具はなくてはならない福祉用具で、個々の身体特性に応じた補装具の適合には、医学的、工学的知識が必要になります。研修では、障害のある方へ適切な補装具等を活用したリハ技術支援を学びます。

回	日時	内容および講師	対象者
1	7月26日(土) 14:00~17:00	講義名：ニーズの把握と支援のすすめ方(仮) 内 容：車椅子生活の可能性を見いだす支援の進め方について 講 師：神奈川県立保健福祉大学 作業療法士 玉垣 努氏	医師、リハビリ テーション専門 職、福祉用具専 門相談員 等
2	9月13日(土) 10:00~13:00	講義名：座位姿勢の考え方(仮) 内 容：車椅子を支援する上での座位姿勢の考え方と評価の仕方について 講 師：永生クリニック 作業療法士 岩谷 清一氏	
3	9月13日(土) 14:00~17:00	講義名：移乗・移動の考え方(仮) 内 容：車椅子における移乗、移動の考え方と評価の仕方について 講 師：神奈川総合リハビリテーションセンター 理学療法士 平田 学氏	
4	10月18日(土) 14:00~17:00	講義名：身体特性からみた車椅子の適合(仮) 内 容：身体特性における車椅子の適合の考え方と支援について 講 師：リハビリテーションセンター職員	
5	12月20日(土) 10:00~15:00	講義名：補装具制度 具体的な車椅子プランニングの実践(仮) 内 容：・オーダーメイド車椅子の制度について ・補装具制度を利用する上でのプランニングの進め方と注意点について 講 師：更生相談所職員、リハビリテーションセンター職員	
6	1月17日(土) 10:00~15:00	講義名：事例演習 内 容：実際に事例を通したオーダーメイド車いすの適合演習 講 師：リハビリテーションセンター職員	

注1：原則として1~6の全てのコースを受講された方に修了証を発行します。

注2：修了証を取得された方の所属、氏名をリハビリテーションセンターのホームページに掲載します（掲載の可否については同意をいただきます）。

注3：定員を超えた場合は、地域の偏り等を考慮し主催者側で調整させていただきます（個々の回への受講も可能です）。

注4：作業療法士の方の受講の場合は、日本作業療法士協会の生涯教育制度のポイント研修とします（1コース：1ポイント）。

注5：福祉用具専門相談員の方の受講の場合は、福祉用具専門相談員のポイント研修とします。

難病相談・支援センター事業

難病相談・支援センターでは、難病患者やその家族からの病気や療養上の悩みなどに関する相談、患者会・医療機関・福祉制度などの情報提供のほか、難病に関する研修会を開催しています。

相談内容によって、専門医（神経内科医・整形外科医・免疫内科医）による相談も可能です。詳細については当センターまでお問い合わせください。

【新たな難病対策】

平成25年4月から「障害者総合支援法」の障害者の範囲に難病等の方が加わり、障害福祉サービス等が受けられるようになりました。さらに現在、国会において新たな難病対策の法律制定に向けて審議が進められており、平成27年1月の施行を目指しています。今後の国の動向を踏まえながら、センター機能のより一層の充実を図っていきます。

【平成26年度行事予定】

1 難病医療講演会・相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
10月3日(金) 14:00~16:00	講義名：多発性硬化症について(仮) 講師：独立行政法人 国立病院機構 医王病院 医師 高橋 和也氏 相談会	県リハセンター	多発性硬化症患者、 家族の方

他に、「循環器系難病」の講演会・相談会を秋頃に開催予定としています。開催日時が決まりましたら、当センターのホームページ等でお知らせいたします。

2 就労相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月5日(火) 13:30~15:30	講義名：難病・高次脳機能障害のある方の就労について 講師：石川障害者職業センター職員 交流会	県リハセンター	難病患者、高次脳 機能障害者、家族 の方

3 セルフマネジメント（自己管理）研修

医学的な治療だけではなく、難病患者自身が自分の病気を管理する「自己管理（セルフマネジメント）」が重要なことから、当センターではセルフマネジメント研修を開催します。

日時	内容および講師	会場	対象者
10月25日(土) 13:30~15:30	講義名：心とからだに笑顔を与える音楽の力(仮) 講師：音楽療法士 太郎田 真理氏	県リハセンター	難病患者、家族の 方、医療・保健・ 福祉関係者等

【難病ボランティア募集 ～関心のある方・興味のある方、センターまでご連絡ください～】

当センターの研修会や患者会活動のお手伝い、難病患者さんやそのご家族の話し相手等をしてくださるボランティアを経験の有無、年代を問わず募集しています。「ボランティアの方の気遣いがとても嬉しい」「普段は話し相手が決まっているが、いろんな年代の方と出会えてよかった」等の声をいただいています。

【石川県内の患者会（友の会）の紹介】

現在、県内では15団体の患者会が活動しており、各患者会では、最新の医療情報や生活に関する工夫などの講演会、定例会、また、会員同士で交流を深めることを目的とした、旅行・カラオケ（リハビリの一環）等の交流会を開催しています。同じ病気を持つ患者同士によるピアカウンセリングや、語り部（医療・福祉系の学生への講話）についてもご協力いただいています。

※各患者会の連絡先は当センターホームページに掲載してあります。

筋萎縮性側索硬化症（ALS）、脊髄小脳変性症・多系統萎縮症（SCD・MSA）、後縦靭帯骨化症（OPLL）、パーキンソン病、網膜色素変性症、炎症性腸疾患、もやもや病、ベーチェット病、膠原病、血液疾患、関節リウマチ、進行性骨化性線維胃形成症（FOP）、HTLV-1関連疾患（HAM）、封入体筋炎、線維筋痛症

高次脳機能障害相談・支援センター事業

高次脳機能障害相談・支援センターでは、当事者や家族、支援機関等からの相談に応じるほか、各種研修会や教室を開催しています。

1 生活支援教室

退院後、高次脳機能障害によって家庭生活や学校、職場等にうまく適応できず、精神的に落ち込んだり悩んだりする方がいらっしゃいます。そのような方々を対象に、毎週水曜日に県リハビリテーションセンター隣の「ほっとあんしんの家」で生活支援教室を開催しています。当事者同士の交流や活動を通じて、障害認識を深めたり代替手段等の情報を得たりして、就労や就学、福祉サービスを利用しながらの安定した地域生活へつなぐことを目的としています。

参加の際には、スタッフとの面接を通して参加目的を明確にし、見学・体験後にご利用いただきます。参加を希望される方は高次脳機能障害相談・支援センターまでご相談ください。

- ・対象者：65歳未満の高次脳機能障害者で、集団活動に参加できる方
- ・内容：スピーチ、体操、認知レクリエーション、グループワーク、外出、学習会等

2 家族教室

日時	内容および講師	会場	対象者
7月7日(月) 13:30~15:30	講義名：高次脳機能障害の理解と対応について 講師：リハビリテーションセンター職員	県リハセンター	高次脳機能障害者の家族
12月8日(月) 13:30~15:30	講義名：使える社会資源について 講師：石川県立中央病院 ソーシャルワーカー 交流会・家族会紹介 高次脳機能障害患者と家族の会つばさ		

3 就労相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月5日(火) 13:30~15:30	講義名：難病・高次脳機能障害のある方の就労について 講師：石川障害者職業センター職員 交流会	県リハセンター	難病患者、高次脳機能障害者および家族、支援関係者

4 専門職研修

日時	内容および講師	会場	対象者
8月23日(土) 14:00~16:00	講義名：生活の向上を見据えた記憶障害へのアプローチ 講師：相澤病院 作業療法士 並木 幸司氏 交流会	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等

「高次脳機能障害患者と家族の会つばさ」のお知らせ

毎月第3日曜日14時から、「ほっとあんしんの家」にて定例会を開催し、料理教室や生活訓練キャンプ等の行事も行っています。会場が変更になる場合もありますので、詳細については高次脳機能障害相談・支援センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先

石川県リハビリテーションセンター

TEL (076) 266-2860 FAX (076) 266-2864

E-mail iprc@pref.ishikawa.lg.jp

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri>

高次脳機能障害相談・支援センター

TEL (076) 266-2188 FAX (076) 266-2864

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>

難病相談・支援センター

TEL (076) 266-2738 FAX (076) 266-2864

E-mail nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/nanbyou/>

「相談は傾聴、親身、親切に」

リハビリテーションセンターでは

県民ニーズに応えるため、

より質の高いサービスの提供を

目指しています。

編集・発行

石川県リハビリテーションセンター

〒920-0353 金沢市赤土町ニ13-1